

JAレーク伊吹の自己改革

JAレーク伊吹では、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指し、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を柱とする「自己改革」に取り組んでいます。

農業者の所得増大・農業生産の拡大への取り組み

①30年産米から事前契約買取販売方式へ移行し、有利販売を実現

JAレーク伊吹は、滋賀県下16JAに先駆けてうるち、もち米を対象に事前契約買取販売方式に移行しました。従来の委託販売方式では、出荷から精算完了まで1年半必要でしたが、29年産米より買取販売を実施するとともに、農業者の所得増大を実現するため、滋賀県内JAで唯一、全銘柄の買取販売を実践しています。



実需者が求めるお米を全国へ販売しています。

②加工・業務用タマネギの生産

新たな水田野菜の振興と農家所得の増大を目的に加工・業務用タマネギを重点品目に位置付け、生産の普及拡大を進めてきました。目標実現に向け、レンタル農機と育苗供給、集出荷施設、乾燥調製施設の準備を進めることで、機械化一貫体系を進めました。また、精算は事前契約買取販売で固定価格を設定し、生産量が増えれば増えるほど生産者の所得が増大します。



30年産(29年定植)は2.6ヘクタール
31年産(30年定植)は前年比5.4倍となる
14ヘクタールに拡大
36年産(35年定植)は30ヘクタールを目標とする

③ひらたねなし柿「霊峰」のブランド商品化

29年度より伊吹果樹組合と共同で、伊吹のひらたねなし柿(樹上脱渋)の最優秀品を新ブランド柿「霊峰」として販売しています。一般的な渋柿と違い、「霊峰」は樹上脱渋により、黒糖のような甘みを実現し、米原市のふるさと納税の返礼品としても好評でした。今後も「霊峰」の高付加価値化と販路拡大により、新たな担い手確保による柿産地の事業継承の取り組みを実践します。



④化成肥料の銘柄集約と生産資材コスト低減

肥料の銘柄集約による低価格資材の提供を行っています。また、担い手経営体のニーズに対応したBB肥料や、担い手直送大型規格農薬等の充実による個別事業提案を行い、生産資材コスト低減を実践しています。



⑤TAC・営農担当者による訪問

TAC・営農経済渉外員(6名)による訪問活動により、個別経営体や組織経営体等の幅広い農家階層550軒に対し、29年度に延べ約8,000回の訪問を実施しました。営農担当者の資質向上と相談機能の強化を図り、1円でも多く生産者手取りを確保するため、個別事業提案の強化と営農相談活動の充実を行います。



⑥記帳代行サービス

新制度として実施された収入保険制度の導入を見据え、青色申告により経営管理を適切に行っている農業者が対象であることから、青色申告の普及推進を図るとともに、新たに記帳代行サービスによる農業経営管理支援を展開しています。



⑦JAレーク伊吹青年部の設立

29年6月に管内若手農業者で組織する青年部を設立し、現在28名の盟友の参画がありました。活動として、盟友相互の交流を深めるため、部会員相互の情報交換や基礎技術研修等を実施するため事務局支援を行っています。



地域の活性化への取り組み

①多目的施設みのりハウスの利用

調理器具を備えた実習室や壁面に大鏡を設置した研修室で、さまざまな体験を通して組合員はもとより、地域住民との触れ合いの場づくりを目的としています。また、味噌加工場も併設しており、土日の利用も可能になりました。(祝日・お盆休み・年末年始除く)



②1支店1協同活動

「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として各支店が創意工夫を凝らし協同活動を実施しています。

6/15・10/17
伊吹支店



6/20
柏原支店



8/10・12/18
山東支店夏祭り



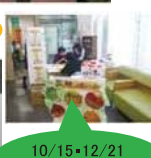
6/15・12/21
長浜東支店



10/16
長浜南支店



10/15・12/21
長浜北支店



10/15
米原支店



6/15・12/7
近江支店



③合併20周年感謝祭りの開催

JALレーク伊吹では合併20周年感謝祭り「20周年ありがとう」～感謝の気持ちをこめて～を平成30年11月24日グリーンパーク山東にて開催しました。当日のイベントでは大変多くの組合員・地域住民の皆さまにご来場いただきました。



④様々な地域貢献活動の展開

JALレーク伊吹では様々な地域貢献活動を展開しています。



柏原保育園バケツ苗



柏原区サロン



JA共済交通安全落語



笑い与健康教室



小学校へ出前授業

